

テーマ 『新たな総合5か年計画「20年後の長野県を考える」』

開催日時・会場

- ✚ 平成24年7月2日（月）17時30分～20時
- ✚ 工科短期大学校学生ホール

参加者

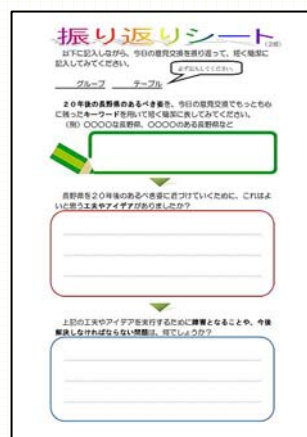
- ✚ 意見交換参加者 73名  
 公募の県民：60名  
 県関係者：13名（阿部知事、進行役職員12名）
- ✚ 傍聴者 約10名



会場の様子など

冒頭、阿部知事が「今、長野県は、新しい中期総合計画を作っている途中でありまして、県内各地域を私も回らせていただいて、20年後の長野県、どういう県にしたいかなということをお皆さんと一緒に考えて、皆さんのお知恵をお借りしてきているという状況です。人間の社会は、一人ひとりの意志が集まって進化していくわけですから、こうしたいと強く皆さんの意思を出していただきたい。我々に対しての投げかけとして、キーワードはこれだぞというのを出していただくと、私としては、非常にこれから取りまとめていくうえではやりやすいなと思います。皆さん楽しい前向きな話し合いの場にしていただくことをお願いします。」などとあいさつをした後、ワールド・カフェという意見交換の過程（プロセス）そのものを大切にするための手法によって、日ごろ学生の皆さんが食事をしている食堂のテーブルに、6人前後に分かれて活発に意見を交換していただきました。

最後に、テーブルごとの意見交換を振り返って「振り返りシート」に長野県が20年後にあるべき姿に近づくためのアイデア等を記入していただき、全体発表を経て閉会しました。



参加者の主なご意見

参加者の皆さんに記入していただきました「振り返りシート」のご意見・ご提言は、新たな総合5か年計画づくりに活用させていただきます。

振り返りシートでは、以下の3つの項目に記入していただきました。

1 キーワード＝20年後の長野県のあるべき姿

20年後の長野県のあるべき姿を、今日の意見交換でもっとも心に残ったキーワードを用いて短く簡潔に表してみてください。

2 あるべき姿に近づくアイデア

長野県を20年後のあるべき姿に近づけていくために、これはよいと思う工夫やアイデアがありましたか？

### 3 解決すべき問題と障害

工夫やアイデアを実現するために障害となることや、今後解決しなければならない問題は、何でしょうか？

以下には、意見交換の概要をお伝えする目的で、参加者のご意見・ご提言をサブ・テーマごとに整理し、簡潔に取りまとめて掲載します。（全ての意見を紹介するものではありません。）

#### グループ1（サブ・テーマ：長野県の誇る健康・長寿について）

##### 1 キーワード=20年後の長野県のあるべき姿

- ✚ さわやか信州、さわやか医療、さわやか患者
- ✚ 安心して暮らせる長野県
- ✚ 緑と健康が薫る長野県
- ✚ 理解と行動のための教育
- ✚ 専門職の連携
- ✚ つながりあう長野県
- ✚ 行政と住民の共同・協働・協同



##### 2 あるべき姿に近づくアイデア

- ✚ 長寿社会で高齢者が地域を支える動機付けが必要
- ✚ 小中高校から大人になっても一貫した健康教育とその教育・予防活動をしていくために専門職のネットワークをつくる。
- ✚ 現状の健康・長寿を維持して行くために、食生活の面から生きがいをつかめる政策や介護の面、医療の面からも考えていかなければならない。
- ✚ いろいろな立場の人とのネットワークにより見守りの充実・支え合いが必要
- ✚ 第2の人生において、今までの技術や知識を活かし活躍できる場をつくる。
- ✚ 医療連携による総合的な取組で疾患予防と医療費の削減が可能。老人施設、高齢者世帯、介護施設での口腔ケアの周知は、疾患の改善に有意差があることが解明されてきている。
- ✚ 県下10医療圏に最低1か所の病院に救命救急センターを設置する。
- ✚ 高齢者の増加と児童民生委員の数のアンマッチに対応するため、ボランティア的な児童民生委員のサポーター制度をつくってほしい。
- ✚ 地域の支え合い・地域づくりへのシステムづくりをしてほしい。行政はその動機付けを示してほしい。
- ✚ 改めて教育のあり方を考えること。現場に学ぶ教育が必要。

##### 3 解決すべき問題と障害

- ✚ 医師会をオープンにしてもらって、健康セミナー等を多く開催してほしい。
- ✚ 食生活改善推進員や保健補導員等、予防を進める長野県独自の財産を残すことが必要
- ✚ 学校教育における健康教育の位置づけが弱い。学校医、校長、教頭、養護教員等の熱意によって大きく差がある。
- ✚ 専門職間の垣根が高い。専門バカになりがちである。
- ✚ 個人情報保護により、高齢者一人暮らし世帯等の情報が入手できにくい。
- ✚ クリアな財源の明示が課題

- ✦ 子ども、ひとり親家族、貧困、発達障害など、目に見えないハンディーに対しても排除せず、正しく理解しようとする視点や現状を知る機会が欠如している。
- ✦ 今、咲いている花は20年前にまいた種であります。ですから、20年後に咲く花の種を、今、私たちは真剣に考えておかなければならないのです。

## グループ2（サブ・テーマ：長野県を支える産業について）

### 1 キーワード=20年後の長野県のあるべき姿

- ✦ 実践・体験学習中心の長野県教育
- ✦ 宝の持ち腐れから持ち得へ
- ✦ 様々な産業をつなぎ、効率的にPRする人材が豊富な長野県
- ✦ 教育から長期的な視点で産業を活性化させる長野県
- ✦ 世界に発信できる通の技の宝庫
- ✦ 長野県の良さで金を稼ぐ
- ✦ 良さを見つけ、つなげる仕組みで、新しい産業をつくる長野県
- ✦ 豊かさが実感できる産業の推進



### 2 あるべき姿に近づくアイデア

- ✦ 信州独自の学習指導要領を作成する。
- ✦ 地域の人たちに学校の教壇にどんどん立ってもらう。
- ✦ 産業コーディネーター育成塾の開設
- ✦ 他県との違いをもっと自分たちが理解する。まず長野県民が自分たちの産業に誇りとやりがいを持つ。
- ✦ 長野県の良さを再発見するために海外・県外との人材交流をし、人脈をつくる。
- ✦ 小中高校生を対象とした県外・海外との人事交流
- ✦ 県外につくる長野県立学校
- ✦ 地域内向けの情報共有と地域外向けの情報発信
- ✦ 農業、林業、製造業、観光業など全ての産業同士が横のつながりを持ち発信していく力を養っていく。
- ✦ ライブカメラの活用
- ✦ 経済的な裏付けのある産業として自立できる農業

### 3 解決すべき問題と障害

- ✦ 教育に対する細かな国の関与と繁雑な教育委員会システム
- ✦ 他者に関与されたくないという業界や地域の人たちの意識
- ✦ 子どもの頃から信州産業の魅力を知る教育が必要
- ✦ 縦割りを変える総合窓口の設置
- ✦ 起業したい人の支援体制、コーディネーター
- ✦ 信州ブランドのPRの強化
- ✦ 今の教育制度・義務教育の見直し
- ✦ 教員資格の見直し
- ✦ 農業を主として所得を得る方々の理解
- ✦ 農業や観光の情報が埋もれていること。
- ✦ どうやって若い人材を育てるかは、意見の分かれるところ、突っ込んだ議論が必要



- ✦ 受け容れる側・地域のホスピタリティーの向上
- ✦ 人材ネットワークの構築
- ✦ 自分の中の常識を疑えない心

### グループ3（サブ・テーマ：みんながあこがれる長野県での暮らしについて）

#### 1 キーワード=20年後の長野県のあるべき姿

- ✦ 命を育てる長野県（自然を思う気持ち、植物を育てる。命を育てる。）
- ✦ 長野県は自然が豊富、バランスある自然保護を目指してほしい。
- ✦ 太陽光、水力など自然エネルギーを利用してお金がなくても豊かに暮らせる長野県
- ✦ 自然エネルギーを活用しエネルギー自立する長野県
- ✦ 年収200万円でも暮らせる長野県
- ✦ 地産地消費と開発型産業で豊かな長野県を目指す。
- ✦ 大自然が県の財源になる。
- ✦ 大自然を活かして農業・畜産が長野県民の健康をつくる。

#### 2 あるべき姿に近づくアイデア

- ✦ このままだと人口がますます減ってしまうので、子育て支援が必要
- ✦ 子育てを無償で行えるようにする。または、保育から大学まで低コストで行えるようにする。
- ✦ 自分がやって良かったことを大いに宣伝する。
- ✦ まずはエネルギーシフト、年間4,000億円を化石燃料費として支払っている長野県だが、豊富なエネルギー資源の多くは無料。事業化あるのみ。
- ✦ スタートが大事、自然エネルギー（太陽光発電）設置に関わる補助金を増やす。
- ✦ 新しい農業税などの新設により若者が農林業に携われるような取組が必要
- ✦ 農地を集積し担い手を確保し、なおかつ退職者が自由に農業をできる地域を設ける。

#### 3 解決すべき問題と障害

- ✦ 農業委員会の古い考え方
- ✦ 長野県の良いところを活かして、一人ひとりができることに取り組めるよう県民一人ひとりの意識を変えること。
- ✦ 自分たちこそが地域を創るという気運が必要。自分たちの思いの現実を伝えるコミュニケーション力が課題
- ✦ 行政主導ではなく、民が能動的に。
- ✦ 高齢化対策として農業で生計が立てられ、若者が参加できるようにすることが課題
- ✦ 少子高齢化にともない、子育てしやすい環境の中でより生産性をあげ、長野県の良さを知り特徴を出していく。
- ✦ 行政も地域も、今日のワールド・カフェをたくさん行い、アイデアを出すと共に認識を深める仕組みをつくるのが課題
- ✦ これだけ沢山話し合われてきたことをむだにせず、行政や自分たちの周りから働きかけ変えていくこと。

